YQ2

雪道楽 QⅡ

リングチェーン・雪道楽QⅡ取扱い説明書

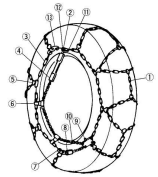
このたびは、リングチェーン・雪道楽ＱⅡをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱い説明書をお読みいただき、常に正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

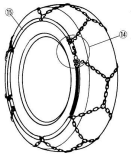
1 セット内容と各部の名称

このセットは以下の内容で構成されています。使用前に必ず、お確かめください。

1．チェーン本体 …… 2本
2．手　　袋 …… 1双
3．補修リンク …… 2ヶ
4．取扱い説明書 …… 1部
5．釘　　金 …… 4ヶ

①クロスチェーン　②かぎフック　③サイドチェーン
④ゴム　⑤コネクター　⑥プラスチックフック
⑦連結フック　⑧リードチェーンジョイントリンク
⑨潤滑　⑩リードチェーン　⑪調整リンク
⑫ピン帯　⑬ジョイントフック　⑭ケーブル接続部
⑮ケーブル（黒／黒）





・誤った取付け方法および使用方法による事故、故障については、一切責任を負いません。
・仕様は、予告なしに変更することがあります。

販売元　CHUHATSU
中発販売株式会社

お問合せ先　〒457-0066　愛知県名古屋市南区鳴尾2丁目114番地　TEL052-614-3653

2005年12月現在

この取扱い説明書は再生紙を使用しています。

2 使用前の注意事項

本文中の ⚠警告、⚠注意 マークの文章は以下のような意味になっています。

⚠警告　人命や事故にかかわる、大切な作業項目です。間違いの無い作業を行い、チェーン装着後も安全運転を行って下さい。

⚠注意　フェンダーやタイヤ、ホイールなどに、キズを付ける原因になります。手順に従って、正しく作業を進めて下さい。

1. 適合タイヤサイズについて

●必ずタイヤサイズに適合したセットをご使用ください。

⚠注意
適合タイヤサイズは、ケース側面のステッカーに記載されています。必ず、ご確認ください。
タイヤサイズは、タイヤの空気圧・摩耗量・ディスク板によって多少異なる場合があります。また、スタッドレスタイヤ・再生タイヤなど特殊なタイヤについては、本セットが装着できない場合があります。

●雪道などで使用する前に、必ず一度試装着をしてください。
・タイヤチェーン購入後、直ちに試装着して、タイヤサイズと合うことを確認してください。

●車輌によっては、同じタイヤサイズでも適合できない場合があります。車輌の取扱い説明書のタイヤチェーンのページも事前にお読みください。

2. 車輌への装着について

●チェーンは必ず駆動輪に装着してください。（4WD車の場合は、車輌の取扱い説明書に従ってください。）

⚠警告
チェーンの片輪のみの装着や異種のチェーンの併用は絶対にしないでください。（必ず左右同一セットのペアで装着してください。）
・左右のバランスがとれなくなる恐れがあります。

3. その他

⚠警告
チェーン装着場所
・他の交通の妨げにならない広い平地か指定された場所で行ってください。
・**路上でのチェーンの着脱**は他の交通や事故に巻き込む恐れがあります。
・**坂道でのチェーンの着脱**は絶対にしないでください。

⚠注意
タイヤチェーンを装着して走行すると、ホイールカバーやアルミホイールをキズ付ける場合があります。必ずホイールキャップは、外してご使用ください。

●商品とイラストが一部異なる場合があります。

3 走行中の注意事項

1. 試走行について

●チェーン装着後、100m程度試走行をして、必ずもう一度締め直してください。

⚠注意
・装着不良による異常音がでた場合は、正しい装着ができていません。直ちに停車して、リードチェーンを正しく締め直してください。そのまま走行すると、車輌をキズ付けることがあります。

2. 通常走行について

(1) 発進する時には。

⚠注意
急発進は絶対にしないでください。
・タイヤが空転し、かえってスムーズな発進ができません。場合によっては、チェーンがすべり、車輌の方向が振き、真直く進まないことがあります。

(2) 通常走行の時には。

⚠警告
チェーンを装着した時は必ず50km/h以下で走行してください。路面状況（凍結路等）に応じ安全のため30km/h程度、場合によってはそれ以下に減速して走行してください。
・**50km/h以上**で走行するとチェーンが切断し、事故につながる**危険**があります。
急ハンドルは絶対に避けてください。
・チェーンを装着したタイヤと装着しないタイヤでは雪路、凍結路でのすべり止めの性能が大きく異なります。車輌の走行安定が損なわれ、たいへんに**危険**です。

●カーブを曲がる時は、手前の直線道路で確実に減速します。カーブを曲がる時は、ブレーキを踏まないようにしてください。
・カーブでブレーキを踏むとFF車では後輪が、FR車では前輪が横ずべりしやすくなります。また、凍結路では車輪がロックして曲がらずにスリップすることがあります。

⚠警告
急ハンドル急ブレーキは避けてください。
・雪路、凍結路では特に滑りやすくなります。ブレーキは何回にも踏み分けて（ポンピング）走行してください。

●車間距離を通常より、2倍以上とって安全運転に心がけてください。

(3) 停止する時には。

⚠警告
急ブレーキは絶対に避けてください。
・急ブレーキはスリップをおこしやすく、車輌の走行安定が損なわれ、事故につながる**危険**があります。

(4) 坂道を運転する時には。

⚠警告
・**上りカーブ**を運転する時に**スピードを出し過ぎ**ると、車輌の走行安定が損なわれやすく**危険**です。路面状況に合ったスピードで、ブレーキを踏まずに一定速度で走行してください。ＦＦ車は後輪が横すべりし、ハンドルを切った以上に車輌が曲がることがあります。また、ＦＲ車は前輪が横すべりし、通常ハンドルを切った程には車輌が曲がらないことがあります。
下りカーブを運転する時は、最も慎重な運転が必要です。下り坂で**ブレーキ**を踏むと前記の上りカーブの現象がさらに発生しやすくなり、事故につながる**危険**があります。曲がる手前で確実にスピードを落として、ブレーキを踏まずに一定速度で走行してください。

(5) その他。

●スタック（立ち往生）した時は、むやみに高速空転をさせないでください。

⚠注意
・チェーンを装着したまま**タイヤを高速空転**させると**チェーンが切断**し、**車輌をキズ付ける**ことがあります。

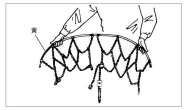
●積雪路、凍結路以外で、タイヤチェーンを装着したままの連続走行はしないでください。

⚠注意
・**乾燥路等での走行**はチェーンの摩耗が早くなり、早期切断の原因になるばかりか、走行性能も低下します。

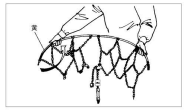
4 タイヤチェーン取付け方法（取外し方法）

1. チェーンのネジレを確認

ケーブルを図のように、黄色のパイプが右側にくるように持ち、チェーンにネジレがないことを確認します。



取り付け方法
確認動画
QRコード



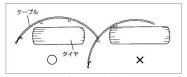
●ネジレている場合は図のようにチェーンがからんだ状態になります。矢印のようにケーブルをくぐらせると元に戻ります。
●リードチェーンがからんでねじれていることがありますので、必ず使用前に直してください。
からんだままでは、取付けられません。

2. 取付け

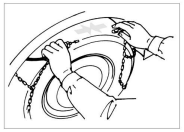
(1) ケーブルの接続部を開いて、黄色のパイプの方を先にして、タイヤの下部右側から、タイヤの裏側へくぐらせます。ケーブルがタイヤに対して左右均等になるように置き、チェーンがからまないよう整えます。
●黄色のパイプの方を左側からくぐらせると、チェーンが裏付けとなります。

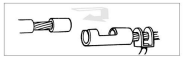
⚠注意
裏付になると、運転の仕方によっては**タイヤ表面にキズ**を付けることがあります。

●ケーブルがタイヤに対して、左右均等でないと作業がやりにくくなります。

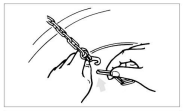


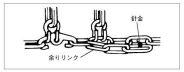
（上から見た図）

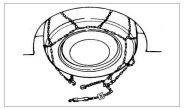




●入れて（挿入）から、反対方向に引く。







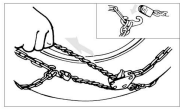
(2) ケーブル接続部の両端を持って広げながら持ち上げ、タイヤの上部で接続部を連結します。
●クロスチェーンが内側に落ちることがありますので、連結したらすぐにクロスチェーンを持ってください。
●クロスチェーンが内側に落ちた場合は、フェンダー部とタイヤのすき間に手を差入れ、ケーブルを持ち上げて接続部を外します。そして取付けをやりなおしてください。

(3) クロスチェーンを手前に持ってきて、右側のサイドチェーン（青色）と左側のジョイントフック（青色）を連結します。次にケーブルを内側に落とし込みます。
●ねじれていないことを確認して連結してください。
●右側サイドチェーンの調整リンクは、確実に引かれる位置で連結してください。
●**サイドチェーンの「調整リンク」使用方法**
タイヤサイズ表示が同一でも、タイヤメーカーや銘柄、およびノーマルタイヤ・冬タイヤ等により大きさが異なる場合がありますので「調整リンク」を使用して正確な取付け状態にしてください。

⚠注意
余りのリンクは釘金で固定してください。
固定しないまま走行すると車輌に当たってキズ付けることがあります。

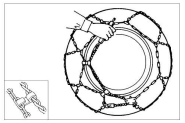
(4) かぶり強さが均一になるように整え、サイドチェーンの下部開口部をタイヤの真下に合せます。（ジョイントフックが、タイヤの上部にくるようにします。）

⚠注意
下部開口部がタイヤの真下になっていないと、ゆるめ装着になります。**ゆるめ装着**はチェーンが**車輌に当たったり、クロスの早期切損等**チェーン故障の原因になります。

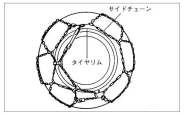


(5) 滑車（黄色）に通してあるリードチェーンのジョイントリンク（黄色）を、連結フック（黄色）と結びゴムのついた側からリードチェーンで強く締付けます。
●リードチェーンが結べない場合は、(3)の調整リンクをゆるめてください。

⚠注意
必ずリードチェーンを持って締付けてください。ゴムをもって引っ張るとゴムが切断する場合があります。



(6) プラスチックフック（黄色）を、サイドチェーンに掛けます。次に先端のゴムが伸びた状態で、かぎフックをサイドチェーンに掛けます。
●プラスチックフックは2ヶ付いています。
タイヤサイズや種類によって、コネクターをはさんで（隣の段に）付ける場合と、並べて使う場合があります。
●ゴムが約1.5倍に伸びるような位置でかぎフックを掛けてください。



3. 取付け状態確認

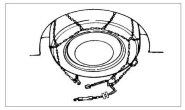
(1) チェーンの掛かりがタイヤに対して片寄りがないことと、コネクター・ケーブル・サイドチェーンが路面接触していないことを確認します。
●タイヤリムとケーブルあるいはサイドチェーンが図のような同心円状になっていることを確認します。

⚠注意
片寄ったまま走行すると**チェーンが外れ**たり**車輌に当たる**場合があります。また、**チェーンが切れやすく**なります。

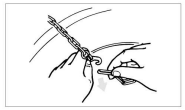
(2) 内側のケーブル、接続部、コネクター、クロスチェーンがブレーキ、車輪など車体に接触していないことを確認します。

4. 取外し

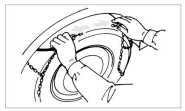
(1) ジョイントフックが、タイヤの上部に（リードチェーンの滑車部分がタイヤの下部に）くるように車輌を止めます。



(2) かぎフック・リードチェーンを外します。次に滑車のノブを押してリードチェーンをゆるめます。連結フックを外し、サイドチェーンをゆるめます。



(3) ジョイントフックを外します。その際、チェーンがタイヤ内側に落ちないよう注意してください。



(4) フェンダーとタイヤのすき間に手を入れて、ケーブル接続部を外して、ケーブルを左右に開きながらタイヤ上側から引出します。

(5) ケーブルが地面に対して平になるようにした後、クルマを静かに移動して、外し作業は完了です。

⚠注意
プラスチックフック、滑車などの部品を踏まないように注意してください。踏むと**破損**することがあります。